

平成25年3月18日

新中期経営計画「MVP 1/3」について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、4月より新たな中期経営計画「MVP 1/3（ワザド）」をスタートしますので、別紙の通りお知らせいたします。

平成22年4月よりスタートした現中期経営計画「NEW PROJECT 60」では、「地域密着型金融の愚直な実践」という基本方針のもと様々な施策や改革を推し進め、着実に成果を上げながら所期の目標を概ね達成できる見通しとなりました。

一方で、今後を見据えますと、経済のグローバル化や急速な技術革新などが進行し、足元でも少子高齢化の進展や低金利の長期化、一段の競争激化が見込まれます。そこで、創業60周年という大きな節目にあたり、当行が地盤とする埼玉県の大きな成長性に着目し、全行員が未来に向かってベクトルを合わせられるように、長期ビジョンとして「埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』（名称：MVP～Musashino Value-making Plan）」を制定いたしました。

新中期経営計画は、長期ビジョン「MVP」を今後10年間に亘り、3つのフェーズに分けて進めていくための最初の3年間という意味合いを明確にするため、「MVP 1/3（ワザド）」という名称にいたしました。

本計画は、長期ビジョンの実現に向けた態勢強化期間と位置づけ、いかなる環境変化にも耐え得る銀行になるために、磐石な営業基盤と店舗ネットワークを構築するほか、提案力に優れた人材を育成し、強靱な経営体質を作り上げ、お客さまや株主さまの満足度向上に努めていく所存でございます。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 当麻、森田、河西
TEL：(048) 641-6111（代表）内線 2160～2162



長期ビジョンおよび新中期経営計画について

1. 長期ビジョンの概要

創業60周年の節目を機に、当行が今後歩んで行くべき針路を役職員全員で共有するために、次の10年を見据えた長期的な経営指針として、以下のとおり長期ビジョンを取りまとめました。

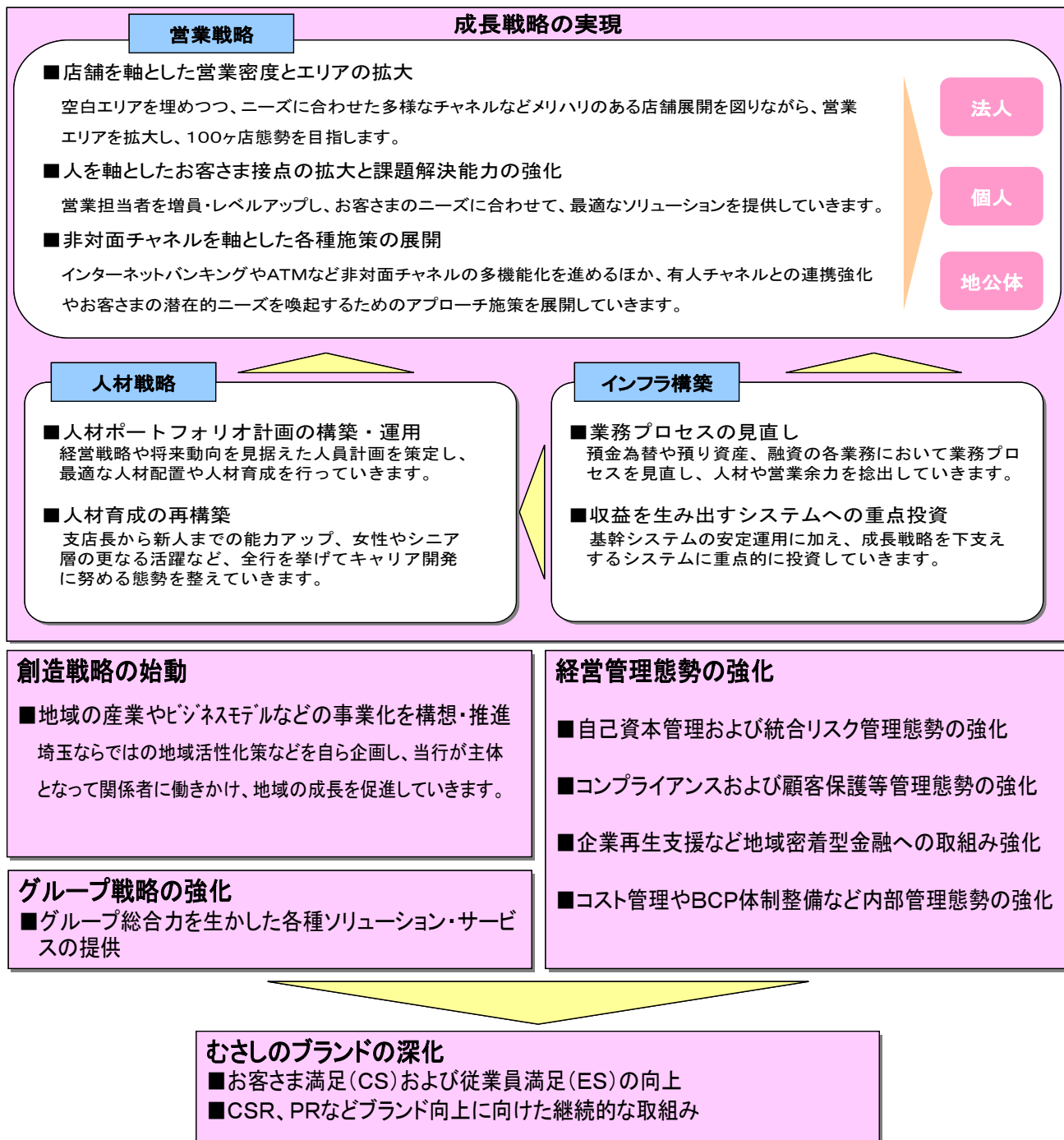
名称	『MVP (Musashino Value-making Plan)』	
長期ビジョン	<p>埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』 ～Value Making Bank～</p> <p>– 埼玉に新たな価値を生み出すことにより、埼玉の発展を主導し、お客さまの期待に応えることで自らも成長する</p>	
存在意義	「地域金融の担い手」としての役割のみならず、地域に新しい取組みを生み出すための主導的役割も担うことで、埼玉の成長に貢献し、その未来を支えていく	
基本方針	2つのドメイン(事業領域)で地域No.1の領域を築き、埼玉の成長を導く	
	<p>成長ドメイン ～地域金融機関として、金融仲介機能を向上させ、地域の成長を支える</p>	<p>創造ドメイン ～地域の新たな産業やビジネスモデルを自ら創り出し、地域の成長を促す</p>

2. 新中期経営計画の概要

当行は、長期ビジョン「MVP」を今後10年間に亘り、3つのフェーズに分けて進めていきますが、以下の通り、最初の3年間の計画を策定いたしました。

名称	『MVP 1/3 (One-third)』			
計画期間	平成25年4月～平成28年3月			
3年後に実現する姿	埼玉県成長に貢献する「地域No.1銀行」に向けて			
	成長ドメイン	チャネルと人材の強化ならびに経営資源の傾斜配分により、地域金融機関として将来に亘り成長戦略を継続しうる土台をつくる		
	創造ドメイン	地域の新たな産業やビジネスモデルなどの事業化構想を自ら企画、実現しうる態勢を整備する		
計画の全体像	意識、行動、経営資源の「シフト」			
	成長戦略の実現	創造戦略の始動	経営管理態勢の強化	グループ戦略の強化
	むさしのブランドの深化			

3. 基本戦略



4. 目標指標

<p>預金等残高(末残) ※預り資産残高含む</p> <p>5兆円</p> <p>貸出金残高(末残)</p> <p>3兆5千億円</p>	<p>当期利益</p> <p>100億円</p>	<p>コアOHR</p> <p>68%未満</p>	<p>自己資本比率 (現行基準)</p> <p>10%以上</p>
--	---------------------------------	----------------------------------	--